

第3章

交流を通じた相互理解

～ 目 次 ～

1 園と小学校の交流

- (1) 保育者と教師の交流 84
- (2) 園児と児童の交流 85

2 育ちや学びをつなぐ要録の活用

- (1) 内容を理解するポイント 86
- (2) 小学校で活用するポイント 87

Ⅰ 園と小学校の交流

(1) 保育者と教師の交流

園と小学校が相互理解のために交流し、それぞれの保育や教育の良さや様子を知り、今後に生かしていきます。

『子ども理解に始まり子ども理解に終わる“子どもを真ん中”につながる』ことを意識して行っています。

校区内での 交流活動

小学校の教師と、各校区内にある園の保育者との間で、様々な交流を行っています。

保育者と教師で連携会議

- ・年間計画(交流計画、相互参観、研修計画)の立案
- ・計画の打合せ・情報交換 等



保育者の授業参観

園での学びが小学校でどのような学びにつながっているのか、保育者が授業を参観します。



教師の保育参観・保育体験

小学校の教師が園を訪問し、園の様子を参観したり、実際に保育の体験をします。



合同研修会

保育者と教師が、互いの教育を知り合うために、研修会を行っています。



保育者と教師がそれぞれ講師となり、相互理解を深めます。



**市が主催する
学校訪問、研修会**

園と小学校の相互理解を図るため、市では園訪問や学校訪問、各種研修会を実施しています。

わくわく学校訪問

毎年4・5月ごろに、保育者が市立小学校の1年生クラスを訪問し、各園の卒園児の様子を参観します。

園の先生を見つけ、児童は大喜び。それを見る保育者も自然と顔がほころびます。



園訪問

小学校の先生が園を訪問し、年長児の様子を中心に参観します。参観後は活発に意見交換が行われます。



研修会

- ・小1担任研修会 ・年長児担任研修会
「えがおわくわく」の活用について学び合い
- ・幼保小連携担当者研修会
校区の取組みについて情報交換・学び合い



(2) 園児と児童の交流

互恵性のあるそれぞれに出番がある交流、意識をつなげる活動を行っています。そのためには、一方的に計画して進めるのではなく、話し合っ一緒に進めることが大切です。

**校区内での
交流活動**

小学校の児童と、各校区内にある園の園児との間で、様々な交流が行われています。

プール遊び

園児を招待して、入学後を見通した、園児と5年生の交流活動



おみせやさん

1年生が考え、つくった「おみせやさん」に園児を招待



じゃがいもパーティー

年長児が育てたじゃがいもをピザ風にクッキングして小学生を招待



活動のための打合せ

園児の学校体験

ランドセル体験



学校探検 (音楽室)



給食体験



2 育ちや学びをつなぐ要録の活用

書き手の保育者は、卒園する子どものさらなる成長を願って、「この子のこんな姿を伝えたい!」と参考にして欲しいことを書いています。小学校では、その内容を読み取り、活用しましょう。

要録の2つの役割

- ① その子どもが確かにその園で教育・保育を受けたことを示す役割
- ② 子ども一人一人のよさや可能性などを把握し、子どもの育ちを支える資料としての役割

次年度または小学校等に
その内容が適切に引き継がれるようにする

育ちと学び
のつながり

(1) 内容を理解するポイント

例. [文例]

その中にある「10の姿」と
「参考となる事項」

① その子自身のよさ・個性

例. 泣いている友達に気付いて「どうしたの?大丈夫?」と声を掛け、寄り添う他者への思いやりの姿が見られた。また、「このお花、かわいい」「お部屋に飾ろう」と身近な自然に目が向き、生活に取り入れる感性が育まれる様子も見られた。

- 周りの様子に気付き行動する…自立心
- 友達の気持ちに寄り添う他者への思いやり…道徳性・規範意識の芽生え
- 自然に親しみ、生活をよりよくしようとする
…自然との関わり・生命尊重/豊かな感性と表現

② 著しい成長の姿とそのプロセス

例. 製作が好きで、廃材を工夫して使い、自分のイメージを膨らませながら夢中で遊ぶ姿が見られていた。秋祭りに向けたクラスのおみこし作りをきっかけに、友達と考えを伝え合い、イメージを共有して一緒に作ることを楽しんでいた。

- 工夫し、イメージを膨らませながら夢中で遊ぶ…思考力の芽生え/自立心
- 友達と考えを伝え合い、イメージを共有する…言葉による伝え合い/協同性
- 秋祭りに向けて…変化(成長)が見られた時期やきっかけ

③ 気になるところや課題(個人の重点)に対する保育者の関わり

例. 友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いが通らないと手が出たり遊びをやめたりすることがあったが、互いの思いを認め、話し合う場を設けてきたことで、徐々に友達の意見も聞きながら遊びを進めるようになってきている。

- 友達と一緒に遊び、自分の思いを伝える…健康な心と体/言葉による伝え合い
- 双方の思いの受容と解決へ向けた場の設定・課題提起…保育者の援助
- 友達の意見を聞き、自分の気持ちに折り合いを付ける
…言葉による伝え合い/道徳性・規範意識の芽生え

(2) 小学校で活用するポイント

小学校では、園の要録を十分に活用して児童理解を深め、小1スタートカリキュラム期の教科等の学びについて計画・実施していくことが大切です。

Q1. 園の要録は、どこにあるのですか？

- 校長室の金庫に保管してあります。
- 重要な個人情報なので、取扱いに注意が必要です。活用したら、必ず金庫に戻します。

Q2. 気になる児童がいます。園では、どのような様子だったのでしょうか？

- 園の要録を読むと、一人一人の「よさ」や「課題」に対する保育者の関わりが分かります。
- 入学式後の学年会等で、要録を読みながら児童についての情報交換を行うと、児童理解が深まり、以後の指導に生かすことができます。

まず、園の要録を読みましょう！

Q3. 園での様子をもっと詳しく知りたいです。どうしたらよいですか？

- 園の要録は、小1スタートカリキュラム期の支援のヒントとなりますが、園での支援の全てが記載されているわけではありません。
- 園の要録には、特に配慮すべき事項についての記載もありますが、さらに具体的な支援の内容を知りたい場合は、電話や園訪問をすると具体的な支援のヒントを掴めます。

園に電話をして尋ねてみましょう！

直接、園を訪ねてみましょう！

園に電話を
してみよう！

小1担任

「要録を読んで、〇〇さんが友達と一緒に遊ぶ中で、互いの思いを認め、話し合う場を設けてきたことで、徐々に友達の意見も聞きながら遊びを進めるようになってきたことがよく分かりました。」

「現在、〇〇さんは、クラスの中で友達とうまく関わるのが難しい様子です。今後の指導に生かしていきたいので、年長の時の担任の先生が、〇〇さんにどのような言葉掛けをされていたか、もう少し具体的に教えてください。」

いつでも、何でも聞ける、園と小学校の関係づくりを！

小学校は園の要録を十分に活用するとともに、いつでも情報交換・情報共有できる関係を築いていくことが大切です。

園
年長担任



小学校
小1担任

幼児教育

小学校教育

